

森

の通信


 自然と歴史の大発見
宮崎県総合博物館

Miyazaki Prefectural Museum of Nature and History

発行日/2010年12月1日

 発行/宮崎県総合博物館 〒880-0053 宮崎市神宮2丁目4番4号 TEL(0985)24-2071
<http://www.miyazaki-archive.jp/museum/> E-mail:hakubutsukan@pref.miyazaki.lg.jp FAX(0985)24-2199-

特選! 蔵出し展

高句麗好太王陵碑拓本(歴史)



中広銅矛・鉄剣復元模型(考古)



新収蔵昆虫標本(動物)

昭和の生活用品
(民俗)

メソサウルス(地質)

博物館の収蔵庫には約9万点のお宝資料が保管されています。動物・植物・地質・考古・歴史・民俗の6部門から近年の寄贈資料や長く一般公開していない貴重な資料などを厳選して展示します。

動物: 新収蔵された**昆虫標本**・トンボの写真

植物: 新種ナベワリ属関連展示、植物レプリカ

地質: 縄文海進時の地層はぎとり標本(高さ7.5m)、化石

考古: 福岡県東友枝出土**中広銅矛**(弥生時代)、今江城ジオラマ

歴史: 高句麗好太王陵碑拓本(長さ6m、4幅)、日本刀

民俗: 大型金庫、ミシン、Sレコードなどの昭和の生活資料

総合: 国の登録記念物「**賀来飛霞標本**」展示、博物館の収集活動の紹介

など、このほかにも多数展示します!

メソサウルス(地質)

2010年**12/18**日(土)~2011年**1/30**日(日)

午前9時~午後5時(入館は午後4時30分まで)

休館: 毎週火曜・12/24、年末年始12/28~1/4

メンテナンス休館1/25~1/27

観覧無料

ハナシノブ レプリカ(植物)

縄文海進時の地層はぎとり標本(地質)



古民家での正月準備体験講座



総合博物館には、古い茅葺きの民家を4棟移築した民家園があります。現在、その民家園でさまざまな催しを開催しています。その催しの一つに、昨年から12月23日の祝日に開催している「古民家で正月準備体験講座」があります。

かつて年中行事の一つとして、1年に1回、年末に天井の煤を払い、床下のごみを取り払うなど、家の内外の大掃除をする煤払いが行わ

れていました。煤払いは、正月準備の第一段階で、家を浄めて年神を迎える準備をするという、大事な祝いの日であったと考えられています。そして、煤払いの後、正月準備として餅つきが行われていました。こうした正月準備を民家園にある椎葉の民家で体験できます。煤払いの後には、民家の庭先で餅つきをしますので、ぜひ、家族連れで参加してみてください。（小山）

移設された石棺

総合博物館と民家園の間に県内各地から移設した石碑や石棺が展示してあるのをご存じでしょうか。石棺は三基復元されています。千枚岩の板石を組み合わせた箱式石棺は延岡市榎山町の榎山13号墳と延岡市友内山古墳にあったものでした。友内山の石棺は蓋石の上が積み石で覆われています。延岡市小野から出土した石棺は刳貫の家形石棺で阿蘇溶結凝灰岩で造られています。石棺は古墳時代の埋葬施設で古墳の墳丘の中に埋設されました。五ヶ瀬川の下流域は県内でも有数の石棺分布地帯です。（石川）





ソテツが育つわけ

宮崎県南端の串間市には、国の特別天然記念物に指定されている「都井岬ソテツ自生地」があります。博物館ではこのソテツについての秘密が展示してあります。ソテツはよく県内の公園や道路沿線などに植栽されていますが、自生しているのは都井岬周辺だけです。この自生地は海に直面した岩場で、植物が育つ条件としては決して良いところではありません。しかし、そんな条件の良くないところでも、ソテツは育つことができます。じつは、根にコブ状の塊があり、そこにラン藻類という細菌が共生しています。ラン藻類は窒素を取り入れてアミノ酸をつくりだし、それをソテツがもらいます。ソテツは逆に光合成をしてできた糖分をラン藻類にわたすことで、お互いに生きていくことができるのです。

(福松)

ダンブリ石

宮崎県を代表する鉱物の一つにダンブリ石があります。ダンブリ石は、アメリカコネチカット州ダンベリーで最初に見つかり、無色透明～白色の四角柱状で縦方向の筋(条線)が特徴の鉱物です。日本では高千穂町の土呂久鉱山と大分県の尾平鉱山が主な産地ですが、現在は閉山のために採集不能となりました。屈折率が高くきらきら輝く性質から、透明なものはダイヤモンドの代用品としてカットされ、ダイヤの半値ほどで取引された時期もあったそうですが、最近ではメキシコなど良質の海外産のものが大量に出回ったことや人工ダイヤの登場で、日本産のダンブリ石が宝石としてカットされることはなくなりました。

当館1階の自然史展示室では、宝石としてカットされたダンブリ石を原石とともに展示中です。かつて宝石として出回ったこともある歴史を語るにふさわしい光沢と存在感を放っていますので、ぜひご覧ください。

(松田)

宝石としてカットされたダンブリ石

高千穂町土呂久



ナミマイマイについて

この「ナミマイマイ」は、もともと近畿^{きんき}地方に生息しているカタツムリです。ここ最近、宮崎市内での目撃情報が増えており、博物館への問い合わせもありました。原因は、園芸植物などに付着した状態で宮崎に運ばれてきたことによるものと考えられています。30年ほど前から宮崎市内で記録があり、少しずつ分布を広げているようです。特徴は、殻^{から}に黄色の模様^{かえんさい}（火炎彩）が入っているところです。人への害はありませんが、今後目にする機会が増えるだろうと予想されます。（山田）



声 Voice 展示解説員の声



冬の冷たく澄んだ空の下、散歩が気持ちの良い季節になりました。博物館のまわりに広がる神宮の森は、元・林業試験場があったために樹木の種類も多く、珍しい植物やたくさんの鳥たちを見ることができます。また、国の重要文化財などが並ぶ民家園では、ボランティアにより、定期的に囲炉裏^{いろり}に火が入られます。茅葺^{かやぶ}きの屋根から煙が立ちのぼる様子はとても幻想的で、日本の原風景をしのばせてくれます。ぜひ一度足を運ばれてみてはいかがでしょうか。（福島）

お知らせ

◆臨時休館のお知らせ

以下の期間は、常設展示室のメンテナンスのため臨時休館となります。

平成23年1月25日(火)～1月27日(木)

◆これからの講座のご案内

1月29日(土) 刀剣の手入れと鑑賞法

2月13日(日) 化石のレプリカをつくろう

3月6日(日) 水晶と鉱物を観察しよう

3月20日(日) 出羽洞穴を探そう

※講座は事前申し込みが必要です。

◆安部 朱美 人形展（貸館） 「昭和の家族 伝えるころ」

会 期：

平成23年2月10日(木)

～3月27日(日)

観覧料：大 人 700円

中 高 生 500円

小学生以上 300円

家族の絆と豊かなころを、沢山の
人々に気づいていただける人形展
です。

